

会 報 《第443号》

次代を築くヒューマン・ネットワーク
一般社団法人兵庫県建築会



令和4年11月1日

目 次

I 第504回月例会

「ひょうごの近代建築」

京都工芸繊維大学 名誉教授・武庫川女子大学 教授 石田 潤一郎 氏・・・2頁

II 特別寄稿

「兵庫県芸術文化協会本部事業について」・・・7頁

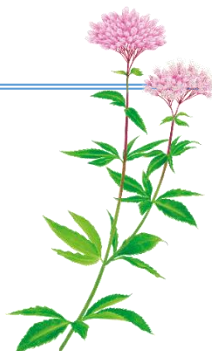
公益財団法人兵庫県芸術文化協会 業務執行理事 近藤 史夫 氏（当会特別会員）

III 令和4年度第4回理事会・・・9頁

IV 第164回研修交流会・・・9頁

V お知らせ 行事予定、編集後記・・・9頁

VI 広報コーナー 兵庫県住宅再建共済制度・・・10頁



I 第504回月例会

「ひょうごの近代建築」

京都工芸繊維大学名誉教授、武庫川女子大学教授 石田 潤一郎 氏



【会長挨拶】



皆さんこんにちは。

本日はお忙しい中、兵庫県建築会月例会によるこそお越しくございました。

長くコロナ禍に苦しんでいた観光地では、新たな需要喚起策「全国観光支援」が始まり観光客が戻ってきました。当会もウイズコロナで通常事業に戻していきたいと考えています。一方、建築業界は世界経済の影響、大幅な円安に伴う建築資機材の高騰、人手不足など厳しい経営環境が続きますが、当会は、会員の皆さまのお力添えを頂きながら下期事業を行ってまいりますのでご協力をお願いします。

上期の月例会は、コロナ禍ではありましたが、6月月例会では視察研修を兼ねて西神中央コンサートホール及び図書館をオープン前に見学することが出来ました。7月月例会も街中を避け、風光明媚な舞子公園に建つ移情閣で孫文先生の偉業を興味深く学ぶことが出来ました。そして、9月の月例会では場所を兵庫県立美術館に移し、河田京都大学名誉教授をお招きし兵庫県建築会創立75周年記念講演会と祝賀懇親会を開催する予定でした。しかし、案内時期の8月上旬は、兵庫県でも連日1万人を超えるコロナ感染者数につき、開催を延期せざるを得ませんでした。ということで3か月ぶりに皆さまとお会いすることが出来、大変うれしく思っているところです。

また、会報誌のお知らせの通り11月10日には「成長する東播磨へ」と題して月例会を新

たに企画しました。そして、1月には当会恒例の新春会員交流会と、延期した創立75周年記念月例会を併せて開催します。多くの皆さまと共に新年を喜び分かちあいたいと考えています。多くのご参加をお待ちしております。

さて、本日の月例会は当会川端副会長と大学同級生のご縁で石田潤一郎先生をお招きしました。石田先生の経歴は司会者から紹介がありましたが、明治以降の日本近代建築史・都市史研究の第一人者として活躍され2003年には日本建築学会賞を受賞、日本の近代建築史において多くの著書、業績を残されています。特に、京都工芸繊維大学 工芸資料館には多くの村野藤吾さんの設計資料を収蔵しておられ、先生の村野藤吾の研究、論文等は私たちも良く知るところです。

本日は「ひょうごの近代建築」をテーマに興味深いお話をお聞かせ願えると思います。また、来年度の研修視察会では、石田先生にご協力いただきフランク・ロイド・ライトの愛弟子遠藤新の設計により、1930年に甲子園ホテルとして竣工し現在の武庫川女子大学甲子園会館を見学させて頂ければと考えています。登録有形文化財である歴史的建築物を保存活用し、大学の学舎として利用し資料保存にも尽くされている建物を見学出来れば大変有意義な一日になると思います。

では、石田先生、本日のご講演とよろしく願います。



【講演内容】



本日の演題の「近代建築」という言葉ですが、西洋の建築物の影響を受けたものとして、日本の近代化の中で現れてきた建築物という考え方でとらえています。

最初、日本は西洋の建築文化というものが知られていないなかで、欧米の文物を取り入れて対抗しようとしてきました。そこで取り入れられた建築として軍事建築、産業建築がスタートしました。

兵庫県では、この時代の動向を示すものとしては、大阪湾に黒船が来るのを防ぐ砲台や神戸の造船所がありますが、生野銀山の異人館も特徴的なものがあります。

また、神戸の居留地も大きな存在で、明治2年ぐらいから建てられ始めています。今当初の姿をよく残しているのが、レストランとして使用されている15番館です。中廊下を通して、両側に個室が並んでいる、いかにも西洋的な小住宅です。またベランダや鎧戸などは日本には無かったもので、日本の大工の棟梁などが見よう見まねで自分たちの建物に反映していくわけです。



(15番館)

(飾磨庁舎)



(今津小学校)

姫路にあった飾磨県庁舎ですが、大変立派な塔が立っていました。残っていたらとても貴重なものでした。当時明治政府には西洋風の建物をシンボルとして使いたいという意識があったのだと思います。

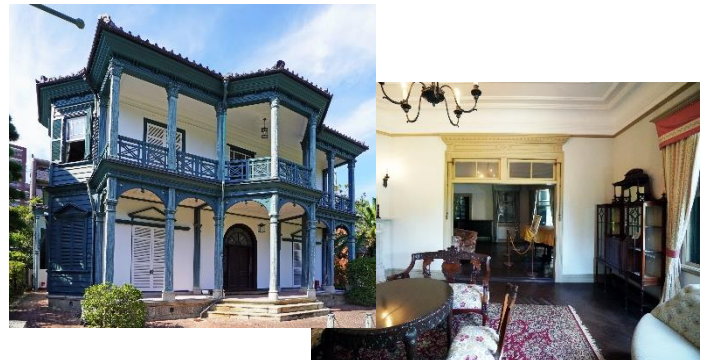
また、当時は小学校をできるだけ洋風に建てるということが進められていました。兵庫県でも西宮今津の今津六角堂として残っています。

ここからは兵庫県に大きな足跡を残した建築家について触れていきます。

1人目は、イギリス人のアレクサンダー・ハンセルという人物です。日本に来て最初に手がけたのが神戸倶楽部です。それから有名なのが、今は相楽園に移築された山本通にあったハッサム邸です。外観も素晴らしいのですが、インテリアが非常に落ち着いた佇まいを見せています。これもハンセルがイギリスの建築教育をきちんと受けていた人物であったからこそのことだと思います。

また異人館として有名なハンター邸も記録としてはありませんが、その作風からハンセルによるものだとわれています。

(ハッサム邸)



次に説明するのが、山口半六です。彼は東大からフランスへ留学して、帰国後文部省の技師として働きます。そのため国立大学の熊本大学校舎、さらに東大理学部の校舎も次々と設計していきます。

その後、山口は体調を崩して文部省を退官して須磨に移住してきます。こちらで設計した建築も大阪で数多くありますが、明治30年代にこれだけの煉瓦造の建物を設計できたことは、非常に立派なことだと思います。

彼の作品で最大の功績は、兵庫県庁舎です。結局竣工直前で亡くなりましたが、いかにもフランス風で凸凹を強調せずに穏やかな作風が彼らしいと思います。

兵庫県庁の後に京都府庁が建って、この二つによってヨーロッパ風の府県庁舎のビルディングタ

イブが定着することになります。もちろんそのようなことを離れてみても、兵庫県庁舎は穏やかなデザインで、いつまで見ても飽きないと思います。



(兵庫県庁)

3人目は曾禰達蔵です。曾禰は九州唐津の出身です。工部大学校を出て、海軍省の技師になりました。それから転じて三菱の技師として活躍しました。

彼の実家は家格の高い江戸詰めの武士で、幕末彰義隊にも参加し、各地を転戦し、山形で投降後、国元に返されました。その時からこれからは外国のことを学ばなければならないと、最終的に西洋建築の道を選んだ人物です。

曾禰の仕事としては、三菱の技師として、東京三菱1号館以下の赤煉瓦街の補佐を務め、その後三菱銀行神戸支店を設計することになり、そこで神戸と縁ができました。

空襲のため屋根などが傷んでしまい、今では腰巻きの外壁だけが残るマンションになってしまいましたが、凸凹を上手く使い、ロンドンの街角にあっても不思議ではないような雰囲気を残しています。

また、東京倉庫の兵庫出張所を設計していますが、ファザードのエントランス回りの雰囲気など三菱1号館のディテールを簡略したようなもので、私は昔からよく似ていると感じていました。

その後曾禰は、三菱から独立し曾禰中条事務所を設立し、色々な建物の設計を行いました。日本郵船の神戸支店、兵庫県庁の側の栄光教会も彼の作品です。

神戸市の栄町通は、明治の早い時期に居留地と同じような広い道路を整備し、電車を敷設し、洋風建築が立ち並ぶようになりました。現在は赤煉瓦の建物は外壁だけが保存されていて、残念に思っています。元々山本通は西の玄関としての神戸にふさわしい格調の高い建物が建ち並んでいた場所だと改めて思っています。

(三菱1号館)



ここからは住宅地と住宅という観点から話をさせていただきます。

まず神戸の西側、須磨、舞子、明石という辺りについてお話しします。この地は平安時代から人気があったところで、富裕層の住宅があったところでした。

例えば、アメリカ風のコテージが非常に上手く作られている武藤邸、今取り壊しが進んでいる日下部邸、のちの舞子ホテル、その側の西尾邸などです。これらは大正期の様式から少し離れて新しいデザインとして建てられたものです。

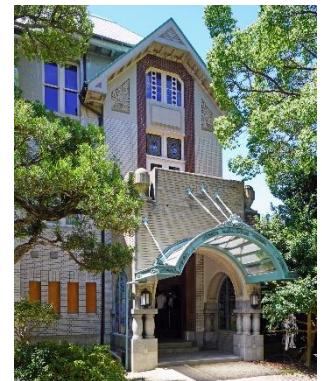


(武藤邸)

また、再生に成功しているのが須磨のジェームス邸です。西日本の風光明媚なところにこのような建築が蓄積していったといえます。

それに対して、阪神間の住吉川周辺に有名実業家が大量住宅を数多く構えていました。中でも日立製作所の創業者である久原房之助邸は3万坪の敷地を誇っていました。

(日下部邸)



(ジェームス邸)

重要文化財になった朝日新聞社主の村山邸は、和館と洋館を並立させた大邸宅です。

芦屋の山邑邸は、フランク・ロイド・ライトの作品です。尾根に沿って階段状に積み重なっていくもので、中もチューブ状に部屋が閉じたり開いたりしながら繋がっていくというものでした。これはライトの空間操作テクニックの賜だと思いません。

さらに、高級サラリーマンクラスの人たちの住宅で有名なのが、夙川香爐園です。傾斜地を殊更造成せずに道路も地形に沿って敷設するという等高線に沿ったデザインでした。住宅も生け垣から中がのぞけるというような家が多く、魅力的なところ です。



(村山邸)

先ほど兵庫県で活躍した建築家をご紹介しましたが、ここからは兵庫県に住んで活躍した建築家をご紹介します。

まずは河合浩蔵です。ドイツに留学し、現在の法務省の赤煉瓦庁舎などを設計しました。その後神戸が気に入り、当地で設計事務所を開きます。

彼の作品としては、海岸通りの海岸ビル、元三井物産の神戸支店、それから海岸ビルとも称していた日濠会館です。19世紀のドイツの造形を取り入れて全部の装飾を定規で引いたようなデザインとしていて、異彩を放っています。

ドイツで勉強していたことよく分かる建物としては、相樂園の中にある小寺家厩舎があります。母屋は戦災で焼失しましたが、残った厩舎はものすごくスケールが大らかで、ヨーロッパ的な邸宅は厩舎でもこれぐらい馬鹿でかいものだと感心しました。

(小寺邸厩舎)



次が設楽貞雄です。彼は工学院大学を出て、山口半六の弟子になり、山陽電鉄の営繕部で務めた後、神戸建築事務所を開きます。

若い頃の作品としては、アメリカ風の手法を取り入れたスティックスタイルの姫路網干の外国人宿舎があります。

設楽の作品で一番有名なのが、大阪の通天閣ですが、兵庫県でも新開地の遊園地を手がけていますし、新開地の聚楽館も彼の作品です。



(通天閣)

3人目が兵庫県建築を語る上で欠かせない置塩章です。彼は陸軍省の技師から兵庫県の技師になりました。その後事務所を開くのですが、役所勤めの経歴

から官庁の仕事を数多く行っています。ちょっと独特のデザインで有名な加古川の市立図書館も彼の作品です。さらに宮崎県庁舎なども手がけています。ネオゴシックを更に簡略化したデザインになっています。



(加古川市立図書館)

そして、清水栄二は神戸市灘区で生まれ、神戸市の技師になりました。その後独立して数多くの建築設計を行いました。世代的には若いので、アールデコ風のもの、モダンデザインの初期のものを多く手がけています。

彼の作品と特に有名なのが、国の登録有形文化財で甲南漬資料館になっている高島邸です。階段の不思議な柱とか何を考えて作ったのか色々想像したくなる作品です。



(高島邸)

最後に安井武雄と村野藤吾について一言触れておきます。

安井は西宮に住んでいました。県内では滴翠美術館等しかありませんが、大阪では数多くの作品があり、特にガスビルは大傑作といえます。



(ガスビル)

村野は宝塚に住んでいましたが、彼が戦前に作ったのが尼崎の大庄村役場です。そして宇部市民館を作り若き建築界のエースと目された人物です。その後は戦争のため軍事施設や工場等しかやれないという運命になってしまいました。



(宇部市民会館)

(大庄村役場)

西宮の砲台から始まり、70年間の間に西洋建築の文化を日本人として消化し、欧米にも匹敵するようなものを作れるようになりましたが、戦争等の不幸な時代のためいったん歩みが止まるわけです。ある意味歴史が一巡したところでとりあえずのピリオドが打たれたのかもかもしれません。

これまでお話しさせていただいたように、兵庫県の建築は地域性の中で特色がありますし、居留地、産業施設等の色々な要素の中で多様なアプローチがなされ、その成果が数多く残っているところだと思います。

これからは単に文化財として残すのではなく、未来への遺産として活用されていくことを願っております。

【お礼 川端副会長】

本日は大変ありがとうございました。

時代背景、地域特性を踏まえて、さらに色々な建築家を体系的にご説明いただき、大変役立ちました。

私と石田先生とは昭和46年に京都大学に入学しました。昭和48年にはオイルショックがあり等があり、世の中は高度成長から外れたような倦怠感が漂っていた時代でした。

私たち歴史研究室という建築からほど遠いようなところにおりまして、古い町家やご講演のような近代建築とか、当時としては役立ちそうもないものを研究していましたが、このようなものを大事に残していくことも、単に建築という分野だけでなく、歴史文化、自然風土等の側面からも大切であろうと思っています。

今後も、このような機会を通じて、建築会でも少し研究して参りたいと思っています。石田先生をはじめとして、皆さまのご協力をお願いします。

本日はどうもありがとうございました。



Ⅱ 特別寄稿
「兵庫県芸術文化協会本部事業について」
公益財団法人兵庫県芸術文化協会
業務執行理事 近藤 史夫 氏（特別会員）

兵庫県芸術文化協会は、昭和 42 年 1 月に財団法人兵庫県社会文化協会として設立され、その後、兵庫県民会館や兵庫現代芸術劇場との統合などを経て、平成 11 年 4 月に現在の名称となりました。平成 23 年 4 月に公益財団法人へと移行し、県立施設である兵庫県民会館、原田の森ギャラリー、横尾忠則現代美術館、尼崎青少年創造劇場、芸術文化センターなどの文化施設の管理運営を行うとともに、これらの施設を拠点に、芸術文化の創造・発信、学習機会・情報の提供、発表・交流の場の提供など多彩な事業を展開しています。

また、県内の関係文化団体と連携して芸術文化の振興や県民文化の向上に寄与するなど、日々の暮らしの中で芸術文化が息づき、人々や地域を元気にする「芸術文化立県ひょうご」の実現を目指した取組を行っています。

兵庫県民会館に拠点を置く協会本部では、顕彰事業やコンクール・展示事業、主催公演事業、講座・体験等事業など、芸術文化の普及啓発事業を通じて、兵庫県内の芸術文化の底上げと、幅広い情報発信に努めています。

ここでは、協会本部の事業についていくつか紹介させていただきます。

【兵庫県生活文化大学等の生涯学習講座】

昭和 56 年から続ける生涯学習講座「兵庫県生活文化大学」は、兵庫県民会館のほか、明石と姫路の計 3 か所で開講。文化財や考古学、地域の歴史、美術や音楽といったテーマを設定し、県立美術館、歴史博物館、考古博物館など、県内の文化施設と連携しながら、独自性の高い、最新の研究成果が学べる内容となっています。今年度の通年講座は 8 講座で、300 名を超える受講生が在籍しています。



す。定員に余裕があれば、年度途中からの受講も可能です。



協会本部ホームページの兵庫県生活文化大学のページ

また、このほかにも、歴史家で園田学園女子大学名誉教授の田辺真人氏による「地域と暮らしの兵庫学」を平成 27 年から実施しています。五つの国からなる兵庫県のすばらしい地域文化を学び、ふるさと意識を高める講座として、毎年高い人気があります。今年度は 9 月から 3 回シリーズで開催します。



【伝統文化の未来への継承】

伝統文化に「触れて」「感じて」「愉しむ」機会とともに、伝統文化の技能を習得することができる「学び」の場を提供し、琴や長唄、能楽、日本舞踊などの未来の担い手育成を目的とする「伝統文化担い手づくり事業」を実施しています。

一日だけの「伝統文化体験教室」と、短期集中講座で最終回に成果発表を行う「伝統文化学び塾」の 2 つの事業があり、どちらも兵庫県公館の和風会議室で開催しています。



このほか、地域の文化団体などの協力を得て、県公館で2日間にわたって初心者向けの伝統文化の実演や日本舞踊、能、邦楽などのステージ、いけばな、書道、工芸などの体験講座など、バラエティに富んだ催しを通じて、伝統文化の魅力を多面的に紹介する「伝統文化ふれあい広場」を令和5年3月に開催する予定です。

【ひょうごアーティストサロン】

平成18年6月に兵庫県民会館1階には「ひょうごアーティストサロン」を設け、日々様々なアーティストが集い、情報交換を行う「たまり場」となっています。

また、このサロンには専門知識を有する芸術文化コーディネーターを配置し、新進・若手アーティストたちへの相談・助言や、「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」「ロビーコンサート」などの発表の場の提供をしています。若いアーティストを育てるインキュベーター機能を持った全国的にも珍しいスペースとして親しまれています。

「新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ」では、出演者がチケット売上の全額を収入し、広報物の作成など自身の公演経費に充当することで、出演するだけではなく、実際に公演制作のマネジメントまでを経験してもらうという仕組みとしています。この事業や「ロビーコンサート」は、概ね月1回のペースで実施。両事業とも兵庫県いけばな協会の協力を得て、毎回趣向を凝らした舞台花が会場を華やかに彩ります。「音楽といけばなのコラボレーションがあるコンサート」として、好評をいただいています。



【友の会について:ホテルやレストランの割引も】

協会本部では、友の会（個人会員・ファミリー会員・団体会員）を組織し、会員には文化情報紙「すずかけ」を送付するほか、前述の生活文化大学の受講料割引やコンサートのチケット料金割引等の優待特典を設けています。

新型コロナ禍前までは、国内外の人文・自然資

源、文化史跡などを訪ね、先人が育んできた歴史・芸術文化に触れ、そのすばらしさを学ぶ「ふるさと文化紀行」「至宝の文化財を訪ねて」「ふれあいの旅」といった会員を対象とした探訪企画を実施していましたが、現在は見合わせています。

このため、感染予防対策に万全を期しながら、参加しやすい1日だけの生涯学習講座（湊川隧道見学会や県立美術館での展覧会特別鑑賞講座など）を開催するのほか、美術館・博物館等の入館料割引やホテルの宿泊代金、レストランの食事代金等の割引、劇場やホールの子供料金優待等の「会員特典の充実」を図っています。詳細は下記のページからご確認いただけますので、入会をご検討いただければと思います。



協会本部ホームページの友の会のページ

【コロナ禍における新しい事業展開】

新型コロナ禍の中での新しい取り組みとして、コンサートや美術の鑑賞機会が減った人々に、自宅で身近に芸術文化で楽しんでもらおうと、「つながろうアート！」をキャッチフレーズに、兵庫県にかかわりの深い新進・若手アーティストから提供された動画作品をYouTubeチャンネルで配信しています。現在は、第1弾から第3弾まで、音楽やダンス、絵画や工芸、伝統文化など、多種多様なジャンルの116作品が鑑賞いただけます。

昨年、県ワシントン州事務所のYouTubeチャンネルで一部の動画作品が配信されたことに続き、今年度からは県パリ事務所のYouTubeチャンネルでも仏訳して配信されています。ぜひ皆さんもこの機会に「ひょうごのアート」をお楽しみください。



協会本部のYouTubeチャンネル「つながろうアート！」

Ⅲ 令和4年度第4回理事会の開催



令和4年度第4回理事会が下記のとおり開催され、協議事項等の審議が行われました。

日時：令和4年10月13日（木）14：00～14：45

場所：神戸三宮東急REIホテル

- 内容：(1) 令和4年度事業執行について
- ・ 創立75周年事業の実施について
 - ・ 下期事業の執行について
- (2) 令和5年度事業について
- (3) その他

Ⅳ 第164回研修交流会の開催

秋晴れの晴天のもと、第164回研修交流会が17名方々の参加により開催されました。

と き： 令和4年10月27日（木）

場 所： 城山カントリークラブ

成 績

優 勝 杉田 健一 氏 (株) 森長組

準優勝 宮崎 健一 氏 宮崎建設 (株)

3 位 山本 康一郎氏 (株) 山本設計

城山賞 (当月賞)

長坂 浩 氏 (株) オフィスナウ

B・B賞 吉本 義幸 氏 兵庫県建築会事務局

ドラゴン賞 藤田宜久 氏 (株) 森長組

ニアピン賞 前川真一郎氏 (株) 前川建設

杉田健一 氏 (株) 森長組

前川 真一郎氏 前川建設 (株)

佐川 圭 氏 (株) 創建設計事務所

吉本 義幸 氏 兵庫県建築会事務局



V お知らせ

○行事予定

1 月例会

日時：令和4年11月10日（木）

12：00～14：00

場所：神戸三宮東急REIホテル

内容：「成長する東播磨へ」

講師：兵庫県東播磨県民局長 小川佳宏 氏

2 事業推進委員会

日時：令和4年12月8日（木）

17：00～19：00

場所：神戸元町 梅の花

3 創立75周年記念月例会並びに

新春会員交流会

日時：令和5年1月12日（火）

場所：神戸三宮東急REIホテル

内容：創立75周年記念月例会

15：00～17：00

「新しい価値観に基づく防災対策」

京都大学名誉教授 河田 恵昭 氏

新春会員交流会 17:00～19:00

事務局：吉本義幸、石井滝実子
電話：078-996-2851
FAX：078-996-2852
Email：archit-k@axel.ocn.ne.jp

安心をカタチに
兵庫県住宅再建 共済制度
フェニックス共済



自然災害から守りたい「住まい」と「暮らし」

今後、もしも！！

南海トラフ地震が発生したら

- ▶ 30年以内の発生確率 最大 80%!
- ▶ 県内の被害想定 全半壊 21.5万棟!

活断層地震が発生したら

- ▶ 油断できない「山崎断層帯」「上町断層帯」など

大型台風が直撃したら

豪雨による災害が発生したら

自然災害で被災した
 住まいの再建に備えて **兵庫県が実施する共助のしくみ!**

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

県内の住宅(借家含む)にお住まいの方に

住宅再建共済	一部損壊特約	家財再建共済
年額 5,000円 で 再建、補修時等に 最大 600万円 給付! ※半壊(損害割合 20%)以上	プラス 年額 500円 で 補修時等に 25万円 給付! ※損害割合10%以上20%未満	単独加入 年額 1,500円 で 住宅とセット加入の場合 年額 1,000円 で 購入・修復時に 最大 50万円 給付! ※床上浸水・半壊以上

※ 住宅の被害認定(損害割合)は、住宅の所在する市町が発行する「り災証明書」によります。

- 地震・津波・豪雨・台風・地すべり・竜巻など、あらゆる自然災害による被害が対象です。
- 住宅の築年数や規模、構造等と関係なく、定額負担で定額給付です。
- 地震保険や他の共済に加入していても加入でき、給付が受けられます。

お問い合わせ

公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金

コールセンター **078-362-9400** (平日9:00~17:00)
 FAX: 078-362-4082

E-mail jutakukyosai@pref.hyogo.lg.jp

フェニックス共済 検索 **★加入申込書はダウンロードできます★**



「加入申込書付きパンフレット」は、県庁・県民局・県民センター・市役所・町役場・郵便局(簡易郵便局除く)にあります。

クレジットカードでのお支払いの方は、インターネットからのご加入が便利です!